

大麦栽培情報 第1号

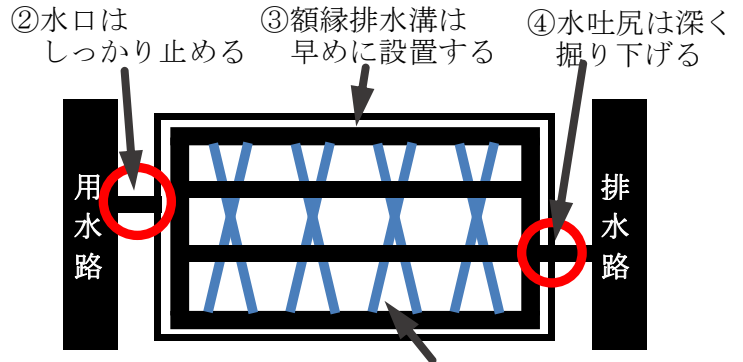
雑草害が懸念されるほ場では作付しない

(1) ほ場の選定

- ・大麦の連作は原則2年までとし、雑草が繁茂した大麦ほ場は水稻を作付けしましょう。
- ・8月末から排水対策が実施できる早生跡ほ場を活用し、団地化させましょう。

(2) 播種前の排水対策

- ・稲刈直後に額縁排水溝の設置と心土破碎を行いましょ。
- ・水口を止めた後、水吐尻を深く掘り下げ、額縁排水溝と連結しましょう。
- ・播種までは、耕起をせず、表面排水を促しましょう。



(3) 土づくり

- ・耕起前に苦土石灰を 100kg/10a 施用しましょう。
- ・大麦連作田で前作収穫後に土づくり対策が未実施のほ場は、牛糞堆肥 1 t/10a 以上または発酵鶏糞 100kg/10a 以上を散布しましょう。

(4) 種子の準備

- ・消毒済み種子を使用しましょう (ベンレートT水和剤 20 を乾燥種子重量 0.5%粉衣)。
- ・目標苗立数を確保するため、播種時期に応じた播種量を守りましょう。

| 播種時期 | 目標苗立数(本/m ²) | 播種量の目安(kg/10a) |
|----------|--------------------------|----------------|
| 9月25~30日 | 140 | 6.0 |
| 10月上旬 | 150 | 6.5 |
| 10月中旬 | 200 | 8.5 |

- ・排水の悪いほ場は、播種を 0.5~1 kg/10a 程度増やしましょう。

(5) 播種作業

- ・原則10月上旬に播種を終える計画を立てましょう。
- ・肥料は、Jコート大麦48号を **40~45kg/10a** 施肥しましょう。
- ・土壌が乾いたほ場から順次耕起、播種を行い、碎土率を高めましょう。
- ・播種時に実施した排水溝と額縁排水溝を連結させ、降雨後のほ場に水が溜らないよう努めましょう。

(6) 除草剤の散布

- ・薬害がでないよう、播種深度は約3cmとし、種子が露出しないようにしましょう。

| 薬剤名 | 適用雑草 | 使用時期 | 使用量(/10a) |
|-------------|-------|--------|-----------|
| キックボクサー細粒剤F | 1年生雑草 | 播種後出芽前 | 3~4kg |